

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
<p>子ども達一人ひとりを大切にしながら、「ふれ合い・学び合い・高め合い」を大切に、まちとともに歩む学校にします。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの具現を追求するとともに、学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、生きて働く知識を向上させます。</p> <p>○一人ひとりが自信と自己有用感をもち、誰もが自分の居場所を実感できる楽しい学校生活が送れるようにします。</p> <p>○語彙を豊かにするとともに、相手の思いを受け止める力、自分の考えをもつ力、伝え合うことで自分の考えを深化させる力など、確かな言語能力を向上させます。</p> <p>○ふれあい活動を充実させるとともに、まちの人とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、人やまちを愛する心を育てます。</p>

### (2) 学力向上に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
<p><b>確かな学力 (学習指導)</b></p>	<p>話し合い活動を大切にし、自分の考えを表現したり交流したりできる授業展開を工夫する。個に応じた学習支援をし、基礎基本の学力の定着を進める。</p>	<p>①学習指導要領の主旨を受け、「主体的・対話的な深い学び」の具現化に向け、児童が主体的に学ぶための授業改善に日々取り組んでいく。②人々との関わり合いを軸にした探究活動や体験活動を多く取り入れ、豊かな学びの場を提供する。③各教科において基礎基本の定着と学び合い高め合う子どもの育成を図るための授業展開を工夫していくとともに、TT、少人数指導、特別支援教育、国際教室などのチームティーチングを積極的に取り入れ、基礎基本の定着をめざす。</p>
<p><b>担当</b></p>	<p>研究部</p>	

## 2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

### (1) 学力の概要と要因の分析

昨年度までは、基礎・基本の学力が安定して高い傾向にある一方、活用に課題があった。児童や保護者のアンケートでは、学力に対する満足度が高かった。基礎学力が高い児童が多いことから、生活体験や経験と学習内容を結び付け、一人一人の興味や思いに沿った学習に一層取り組んでいきたい。

### (2) 教科学習の状況

本校は、主要4教科ともに学力的にはほぼ市の平均値を上回っている結果であった。特に社会は市平均よりもかなり高いといえる結果となった。しかしながら、学習意識はというと社会と算数が市平均を下回っている結果になっていた。

### (3) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

上記経年変化で見ると、過去5年では、学力においてはどの教科においてもほぼ市平均を上回っており、水準をキープできている。しかし、学習意識は一昨年度ほどではないものの市の平均を下回ってしまう教科も見られた。生活意識では、昨年度よりも安定がみられてきた。要因としては、体験的な学習に重点を置いて総合的な活動の時間等に取り組み、出前授業などにも力を入れてきたことも考えられる。しかし、一方で知識偏重の学年も見られるところは課題であるといえる。